

世界をリードする力

国際社会における次世代のリーダーには、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、多様な価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。



語学力を向上させ、海外に目を向ける授業やプログラムが用意されている。



多彩なテーマの講義と英語の討議を通して、幅広い視野と積極性を養うことができた

入学時期が新型コロナウイルス感染症の拡大と重なってしまい、対面授業をしばらく受講することができませんでした。人との出会いと同時に、英語を使う機会もかなり限られ、積極的にそういう場を自分から求める必要性を感じていたところに、グローバルリーダーシップセミナー (GLS) を知りました。多彩なテーマの講義を受けた後に、その内容について英語で学生同士ディスカッションするという授業で、自分にとって非常に有益ではないかと思い、2年の前期に受講することにしました。

講義はなるべく対面形式で実施されましたが、ディスカッションは Zoom を用いたオンライン形式でした。対面に比べて自発的に発言することが難しいと感じましたが、多様な視点や価値観を持つことを学び、他のメンバーから大いに刺激を受けることができました。加えて貴重な体験となったのが、夏休みに参加した GLS の実地研修です。オンラインではありましたが、韓国の学生たちと約1週間ディスカッションを行い、最後にプレゼンテーションとしてまとめるというもの。英語でお互いの考えをぶつけ合いながら、それを方向づけてプレゼン資料にまとめるプロセスは大変楽しく、充実した時間でした。

このような経験を得て、英語力をもっと向上させたいという意欲も強くなり、大学院に進んだらダブルディグリープログラムを利用して海外へ留学してみたいと考えています。環境問題など地球規模の事象は一つの国で解決できることではありませんので、将来的に海外との架け橋になれるような人材を目指して、色々なことに積極的に挑戦していきたいと思っています。

学門A入学2年
神奈川県出身

外国語教育 (英語・諸外国語)

学部1・2・3・4年

英語科目ではアカデミックな英語運用能力の習得を通じて、論理的・批判的思考力を養います。習熟度別にクラス分けされた第1・第2学年の必修英語に加えて、選択英語(総合教育科目)で「リーディング」「ライティング」「スピーキング」「リスニング」といった技能別授業を学部4年間にわたり履修できます。諸外国語は、第1学年でドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択して必修科目として学びます。これらの外国語も、目的別・レベル別のクラス(総合教育科目)で、学部4年間にわたって学ぶことができます。



グローバルリーダーシップセミナー (GLS)

学部1・2年

次世代のリーダーとして活躍するために、国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の大切さを肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表したり議論したりします。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。長期休暇中には、関連科目として「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」を実施しています。



留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約140校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制の中の春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位を取得できた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まった学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



ダブルディグリープログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向けプログラム」があり、フランスのエコール・サントラルやその他ヨーロッパ諸国の有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

